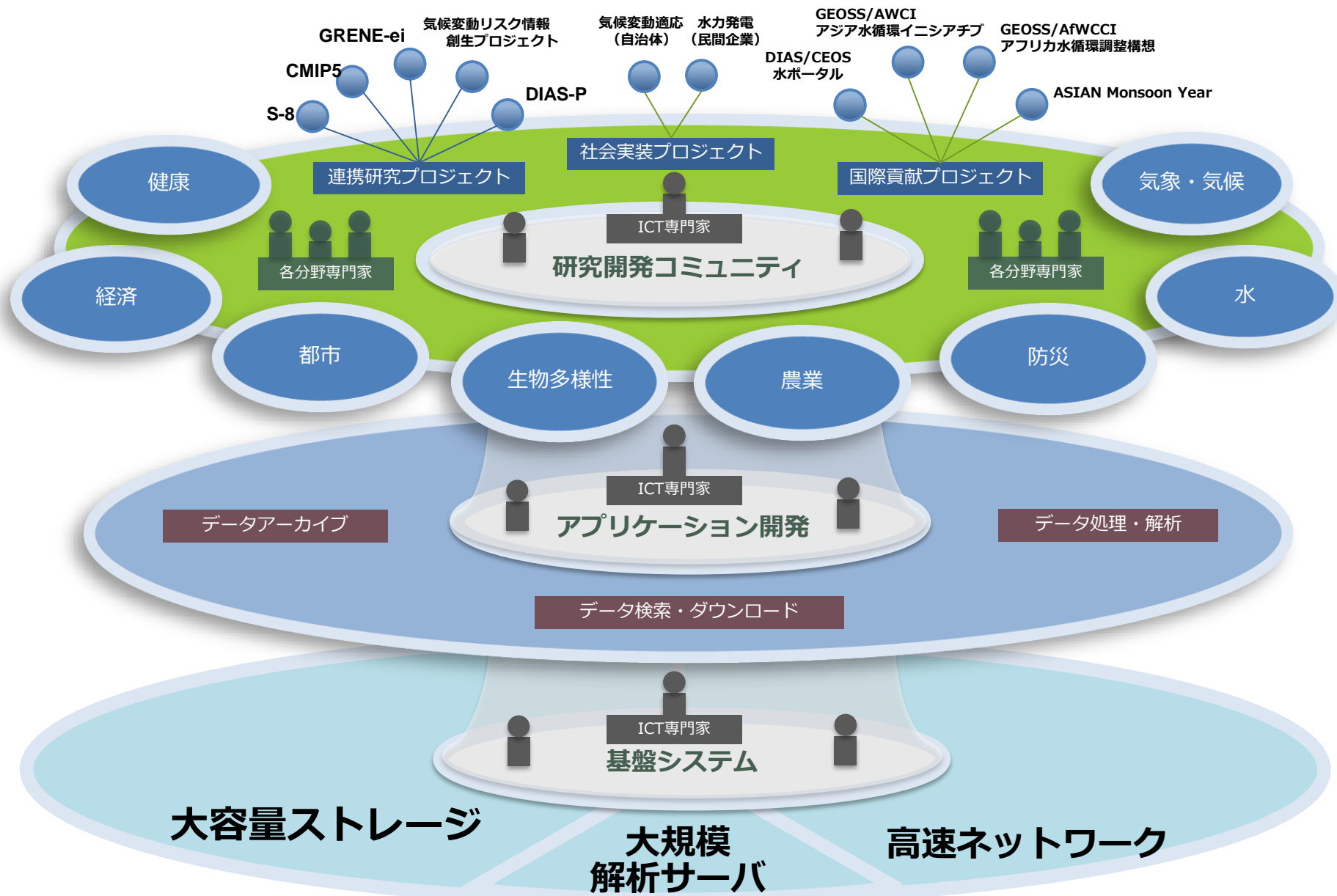


「地球環境情報プラットフォーム構築 推進プログラム」の今後の取組の 方向性について

平成30年7月2日

文部科学省 研究開発局 環境エネルギー課

DIAS Community



今後の取組の方向性

- 平成28年度から開始したDIAS第3期事業期間においては、民間企業等のニーズを踏まえた運用体制構築や課題解決に向けた研究開発を推進することで、産学官で活用が可能な地球環境情報プラットフォームの構築に取り組む。

1 好事例の創出

- これまで開発してきたアプリケーション（防災、健康、インフラ等）の活動を通じて、可能な限り多くの好事例を創出する。
- リアルタイム河川・ダム管理システムについては、平成30年度中にアプリケーション開発に一定の目途をつけ、平成31年度から実装へ向けての試行を行う。

2 安定的な運用環境の整備

- DIASの安定的運用及びビジネス利用促進に向けて、ストレージ等の基盤システムの更新及び増強に取り組む。
- 一般ユーザーのさらなる獲得に向けて、データへのアクセス向上や解析環境の利用促進に関して検討を加速。
- 民間企業等の産業利用を促進するため、データポリシー、料金制度、運営体制等について検討を加速。

3 国際貢献

- 地球観測に関する政府間会合（GEO）やSDGs等の国際貢献につながる研究開発・機能強化を実施する。